

## 宝塚さざんか福祉会法人理念

法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。

職員は、職業人としての自覚を持ち、自らの資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。

法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動し、地域のコミュニティ発展に寄与します。

## Contents

コロナ禍における各事業所の取り組み .....	2~5P
コロナ禍におけるグループホームの様子 .....	6・7P
寄付について／編集後記 .....	8P

## コロナを跳ねのけた 各事業所の元気な様子をお届け致します。



コロナウイルスに対しては、職員はもとより、利用者の方もご家族の方も感染予防を念頭に置いた日常生活を送られたと存じます。皆様の日々のご努力のお蔭で、全事業所が、写真のように無事に開所できております。皆様の篤い御協力に心より感謝申し上げます。

6月にはあしたば園のトイレ等の改修工事が完了しました。その際には宝塚市手をつなぐ育成会様より200万円のご寄付と宝塚さざんか福祉会後援会様より100万円のご寄付を頂きました。ご協力に感謝申し上げます。今後とも温かい応援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。（理事長 松井 美弥子）

### 宝塚さざんかの家

本年度は、コロナウイルスの猛威の影響により行事等があまり行えなかったこともあり、お盆期間中に利用者の皆様楽しんでいただく為、さざんかの家でスイカ割りを実施しました。地域のお店でスイカ、準備物を購入しました。本物のスイカを割るとスイカが傷んで食べられない部分が出てしまう為、スイカに似せた物を作成し、スイカ割りという形で実施しました。利用者の皆

様はニコニコと表情よくスイカ割りを楽しまれていました。スイカ割りを終えた順に食堂へ移動していただき切り分けたスイカを食べていただきました。利用者の皆様に笑顔で楽しんでいただけたので今回、スイカ割りを実施出来て大変良かったと思います。



### 宝塚あしたば園

宝塚あしたば園では、毎年様々なイベントを開催しています。特に昨年度より「季節のイベント」として「かき氷会」や「新年会」等、利用者の方々に四季を感じていただけるように工夫をさせていただいています。

今年度は、新型コロナウイルス感染に伴う活動の自粛もありませんが利用者の

方々に楽しんでいただく機会を設けられずにいましたが、8月7日と8月28日に「かき氷会」を実施することができました。新しいかき氷機を購入し、よりおいしく楽しめるようにシロップの種類やトッピングにフルーツをつけるなど、昨年度以上に楽しんでもらえるよう工夫することで、普段は活動に参加しにくい方も少し顔を出すことができたり、氷が嫌な方もフルーツのみで楽しめるなど非常に満足していただける会となりました。今後は、11月に「焼き芋会」・12月に「忘年会」等を開催予定となっています。

あしたば園では、イベントだけでなく日々の日課の中でも「居心地の良い居場所づくり」を目標に様々な活動を行っています。



### 宝塚めふプラザ

宝塚めふプラザでは、お盆登所日の8月13日（木）と8月14日（金）にお出かけ活動を行いました。

8月13日（木）は、神戸市北区にある弓削牧場に行き、小ヤギや牛などの動物を見て楽しみました。休憩タイムでは、新鮮な牛乳や自家製のソフトクリームをみんなで食べました。濃厚な味わいに大満足でした。



8月14日（金）は2グループに別れ、甲山森林公園や末広公園にピクニックに行きました。がんばってたくさん歩いたので、爽やかな汗をたっぷりかきました。到着後は冷たいお茶を飲んで休憩したり、周囲を散歩したりと、思い思いの時間を過ごしました。両日ともに、お昼ご飯は「がんこ肉処おかむら」さんの豪華なお弁当をいただきました。大ボリュームのおかずで、みんなお腹いっぱいになったようです。

また、午後からはDVD鑑賞会を行いました。涼しい部屋でゆっくり楽しみましたが、午前に頑張って歩いた疲れから、ウトウトしてしまう人も…例年とは少し違う、めふプラザのお盆の過ごし方でしたが、皆さん充実した二日間を過ごせたようでした。

写真は他にもめふプラザのホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



### 宝塚けやきの里

宝塚けやきの里では利用者の思いを聴く場の一つとして、利用者自治会を設けています。今年度は特にコロナ禍において余暇が満たされないという皆様の声に寄り添い、皆で楽しめる創作活動を検討してきました。



その結果、5月には母の日に合わせてハーバリウム制作、6月には宝塚めふプラザのさをり織りを使用したオリジナルマグネット作りと、バンダナやハンカチを使用したマスク作り、7月にはかわいいキャラクター風のコースター作り、8月には感染症予防のきっかけに固形石鹸を使用したデコパージュ石鹸作り、9月には敬老の日に合わせてフクロウのモチーフ作りを行いました。

今後も皆様の声に寄り添い、共に歩いていくという視点を大切にしながら様々な企画を検討していきます。なお当事業所ホームページにもその様子を載せておりますので是非ともご覧ください。



## ワークプラザ宝塚

ワークプラザ宝塚では、昼休みの12時半から13時まで玄関で、ダンスをしたり歌を歌っています。音楽が流れ始めると、少しずつ集まってきます。参加は自由で好きな音楽が流れた時にだけ参加する人、椅子に座って歌っている様子を眺める人、など様々です。踊ることで良い運動にもなりますし、歌い終わった後はすっきりした表情で午後からの作業に入ります。こういった楽しみがあるからこそ作業も頑張れるのだと思います。

働いたら楽しむ！楽しんだら働く！これがワークプラザ宝塚です。

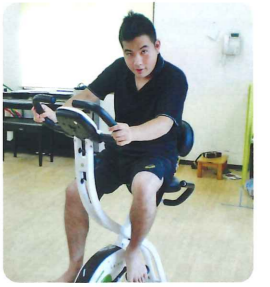
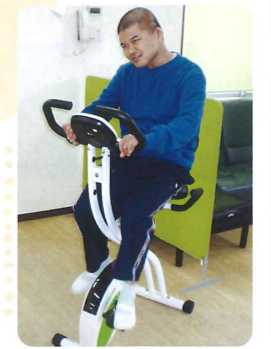


## 宝塚くるみの里

宝塚くるみの里では、年度初めに「エアロバイク」を購入いたしました。今年度はコロナ禍のスタートだったので、フロア内で使用できる物の購入を検討しておりました。「エアロバイク」の登場は、事業所に楽しい雰囲気を運



んできてくれました。「皆さん、気に入ってくださるかな」「支援員専用になったらどうしよう」という心配も抱えながら、利用者の皆様に紹介させていただきました。すると、すぐに興味を持ってくださる方もおられ「私、乗れるで！」と軽快にペダルをこぎ始めてくださいました。その後は、お一人おひとり順番に「エアロバイクチャレンジ」がスタートしました。なんとなく興味があってパーツに触られる方、誰かが乗っている様子を遠くから眺められる方、皆さんがそれぞれの関心を寄せてくださいました。支援員と一緒に練習しているうちに足の動きをマスターされた方もおられ、今では運動メニューの一つになっております。利用者の皆様にとって、体を動かす時間が楽しくなるよう、支援の幅を広げていきたいと思っております。



## かしの木工房こはま

外出は場所を考えたり、昼食は1テーブル6人掛けを4人掛けにしたり、感染予防を行っております。夏から秋にかけての市内のイベントの中止や製菓の販売も…。

普段は、各フロアでの活動になりますが、ダンス・工作・本の読み聞かせ・パン作りなど、利用者さんも支援員も一緒に、新しい発見に喜んだり、楽しい時間を過ごすことができるように生活支援プログラムを実施しています。

今後も、かしの木に来られる利用者さんが、毎日来たい場所として、安心・安全に生活が送れるように支援させて頂きたいと思っております。



## いきいき宝夢

いきいき宝夢では、今年度はたくさん行事をしよう!ということで昨年度から年間予定を立てていりましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により計画通りにはいきませんでした。外にも出にくい、人にも会えない。そのような単調になりやすい生活の中で、楽しみやメリハリを持ってもらうために支援員がアイデアを出し、ご家族様の協力を得て月に3、4回イベントを設けています。その中からスイカ割りの様子を見てもらいたいと思っております。

今から、すいか割りを始めます。準備開始!



上手に割れたかな?



すいかって本当においしいよね~!



### あじさい1ホーム

定員5名の男性ホームです。去年は、ホームレクで、みんな有馬温泉に行きました。



リラックスでき、みなさん楽しまれました。

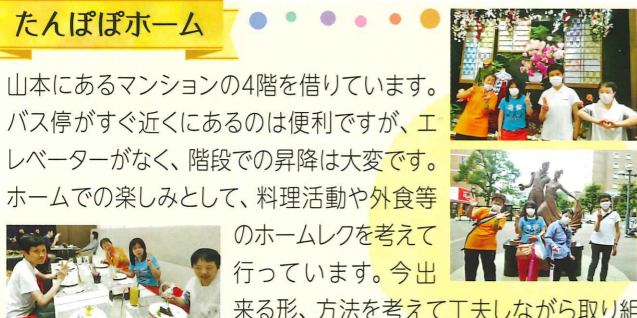
### すばる1ホーム

定員5名の男性ホームです。とても礼儀正しい5人が集まったホームです。休日には、利用者同士でヘルパーとボーリングなどに行ってお楽しみしています。土日仕事がある利用者は、その話を聞いて、羨ましそうにしています。



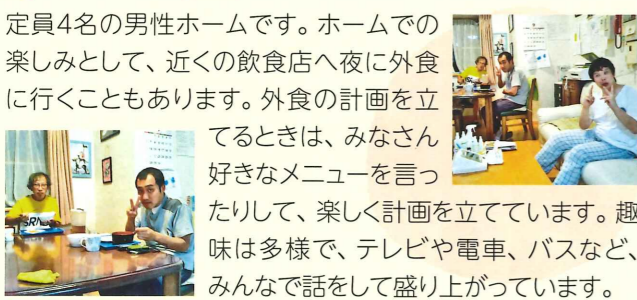
### たんぼぼホーム

山本にあるマンションの4階を借りています。バス停がすぐ近くにあるのは便利ですが、エレベーターがなく、階段での昇降は大変です。ホームでの楽しみとして、料理活動や外食等のホームレクを考えて行っています。今出来る形、方法を工夫しながら取り組んでいます。(令和2年10月をもって閉所となり、山本東に引っ越しします。)



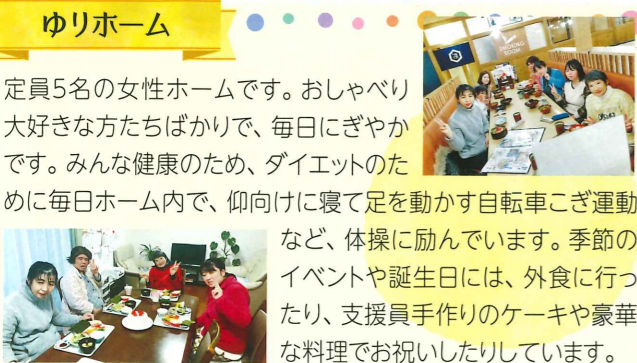
### のぞみホーム

定員4名の男性ホームです。ホームでの楽しみとして、近くの飲食店へ夜に外食に行くこともあります。外食の計画を立てるときは、みなさん好きなメニューを言ったりして、楽しく計画を立てています。趣味は多様で、テレビや電車、バスなど、みんなで話をして盛り上がっています。



### ゆりホーム

定員5名の女性ホームです。おしゃべり好きな方たちばかりで、毎日にぎやかです。みんな健康のため、ダイエットのために毎日ホーム内で、仰向けに寝て足を動かす自転車こぎ運動など、体操に励んでいます。季節のイベントや誕生日には、外食に行ったり、支援員手作りのケーキや豪華な料理でお祝いしたりしています。



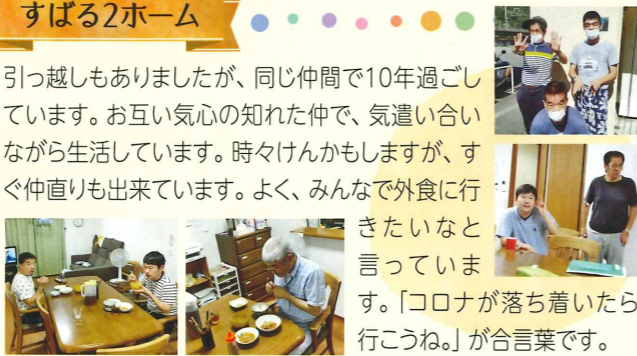
### あじさい2ホーム

定員5名の男性ホームです。休日には、近くのコンビニへよくみんなで買い物に行きます。みんなテレビが好きで、野球や相撲、ドラマ、歌の話が絶えません。



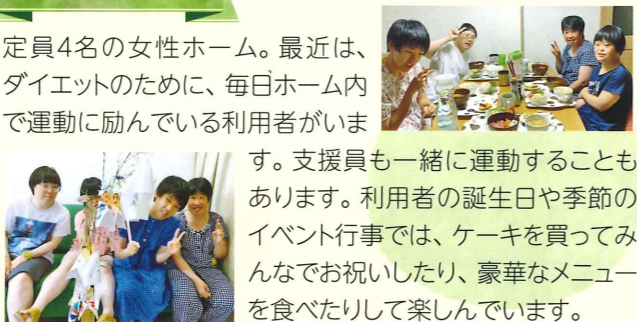
### すばる2ホーム

引っ越しもありましたが、同じ仲間で10年過ごしています。お互い気心の知れた中で、気遣い合いながら生活しています。時々けんかもありますが、すぐ仲直りも出ています。よく、みんなで外食に行きたいなと言っています。「コロナが落ち着いたら行こうね。」が合言葉です。



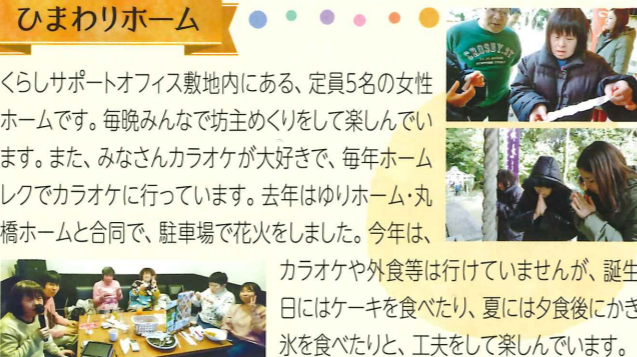
### すずらんホーム

定員4名の女性ホーム。最近、ダイエットのために、毎日ホーム内で運動に励んでいる利用者がいます。支援員も一緒に運動することもあります。利用者の誕生日や季節のイベント行事では、ケーキを買ってみんなで祝いしたり、豪華なメニューを食べたりして楽しんでいます。



### ひまわりホーム

くらしサポートオフィス敷地内にある、定員5名の女性ホームです。毎晩みんなで坊主めぐりを楽しんでいます。また、みなさんカラオケが大好きで、毎年ホームレクでカラオケに行っています。去年はゆりホーム・丸橋ホームと合同で、駐車場で花火をしました。今年は、カラオケや外食等は行けていませんが、誕生日にはケーキを食べたり、夏には夕食後にかき氷を食べたりと、工夫を楽しんでいます。



### わかばホーム

定員4名の男性ホームです。食後はみんなで、テレビを見たり、お茶をしたりして、のんびり過ごしています。去年は、ホームレクで外食にも行きました。



### 安倉中ホーム

市営住宅の2、3階を借りて生活しています。自治会にも入り、地域清掃に利用者も一緒に参加しています。休日は、それぞれが好きなところに外出して楽しんでいます。帰ってきたら、みなさんそれぞれ楽しんだ報告をして、おしゃべりして賑やかなホームです。



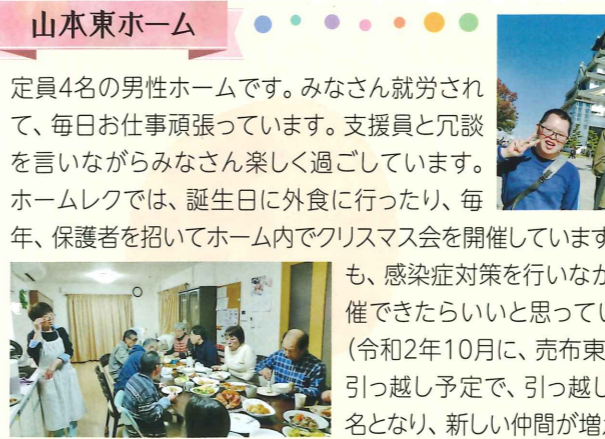
### 安土夢1ホーム 安土夢2ホーム

「安土夢」の名前の由来は、「安倉の土地で夢を持って過ごす」ということですが、鉄腕アトムともかけてあるとか…。隣のホームと協力し合いながら、安全なホーム生活を支援しています。お互いが、お互いを助け合い、自分の役割を持ち、協力し合いながら生活しています。各々の部屋を拜見……凶鑑が好きな人がいる…野球好きな人がいる…車好きな人がいる…好きなものに囲まれ、楽しいホーム生活を送っています。



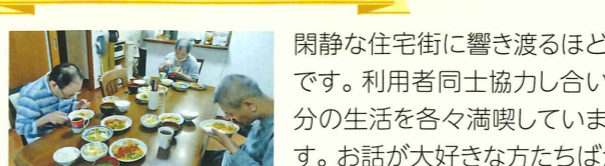
### 山本東ホーム

定員4名の男性ホームです。みなさん就労されて、毎日お仕事頑張っています。支援員と冗談を言いながらみなさん楽しく過ごしています。ホームレクでは、誕生日に外食に行ったり、毎年、保護者を招いてホーム内でクリスマス会を開催しています。今年も、感染症対策を行いながら、開催できたらいいと思っています。(令和2年10月に、売布東の町へ引っ越し予定で、引っ越し後は5名となり、新しい仲間が増えます)



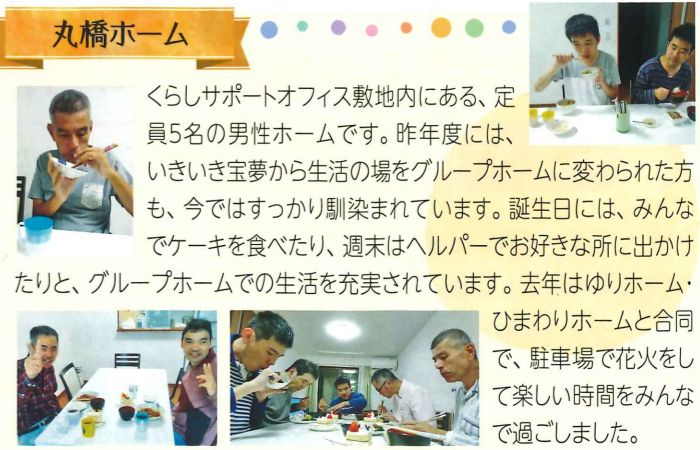
### 口谷1ホーム 口谷2ホーム

閑静な住宅街に響き渡るほど、大きな笑い声が絶えない、にぎやかなホームです。利用者同士協力し合い、手伝い合いながら楽しく生活しています。自分の生活を各々満喫しています。時には、お互いのホームに遊びにも行きます。お話が大好きな方たちばかりです。



### 丸橋ホーム

くらしサポートオフィス敷地内にある、定員5名の男性ホームです。昨年度には、いきいき宝夢から生活の場をグループホームに変わられた方も、今ではすっかり馴染まれています。誕生日には、みんなでケーキを食べたり、週末はヘルパーでお好きな所に出かけたりと、グループホームでの生活を充実させています。去年はゆりホーム・ひまわりホームと合同で、駐車場で花火をして楽しい時間をみんなで過ごしました。



### 桜ガ丘1ホーム 桜ガ丘2ホーム

宝塚市桜ガ丘の高台に位置するホームです。ホームからの景色は絶景で、宝塚の町を一望できます。お正月に勤務した職員は「初日の出がめっちゃくちゃきれい」とのこと。又、ホームレクも積極的に行っています。昨年度、桜ガ丘1ホームは、カラオケや、尼崎城に出かけたりして外出レクを楽しんでいます。桜ガ丘2ホームは皆様365日ホームで生活されています。昨年度は、阪神甲子園球場横のショッピングセンターへ行って、買い物や食事をしたり、日常生活、余暇ではヘルパーを利用して買い物や散髪、通院等を利用して充実した生活を送られています。



### 売布ホーム

みなさんよくしゃべり、笑い声が絶えないホームです。定員5名の男性ホームです。一般就労や就労A・Bで、みなさんお仕事をバリバリ頑張っています。夜にはみんなでカラオケをすることもあります。カラオケの採点機で、98点を取った利用者もいます。みなさん美声で愉快的な利用者が揃っています。





## 宝塚さざんか福祉会への寄付 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) 敬称略

総額 3,112,799円

ありがとうございました。それぞれの事業所で有意義に使わせていただきました。

法人本部(職員、医療法人社団仁成会、さざんか福祉会後援会、宝塚更生保護女性会)・さざんかの家(保護者(2件))・あしたば園(保護者(2件))・めふプラザ(こやキッズ、さざんか福祉会後援会)・けやきの里(保護者(1件)、さざんか福祉会後援会)・ワークプラザ(保護者(1件)、ワークプラザ宝塚保護者会、さざんか福祉会後援会)・かしの木工房こはま(宝塚市第一地区民生児童委員協議会)・くるみの里(保護者(1件))、いきいき宝夢(いきいき宝夢保護者会、保護者(3件)、さざんか福祉会後援会)・グループホーム(保護者(3件)、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会、スオナーレほっこり代表 宮内美穂子、ピーチク・パーチクサロン代表 宮内、さざんかグループホーム全体保護者会)



あしたば園のトイレが明るく、使いやすくなりました。宝塚市手をつなぐ育成会、宝塚さざんか福祉会後援会より寄付をいただきました。



宝塚さざんか福祉会後援会より、非接触型体温計をいただきました。

### 編集後記

- 今年、コロナ禍で、宝塚さざんか福祉会でも感染予防対策をしています。ただ、予防はできても、一人ひとりの生活リズムの変化や楽しみが奪われ、気持ちがしんどく、その想いをどこにぶつけたら良いのか…。編集会議では、こんな時だからこそ、「楽しい取り組み」と日々、奮闘している姿を伝えようと特集を組みました。“苦しい時だからこそ、笑いを!!”(上江洲)
- 『新しい生活様式』が定着しつつあり、広報・啓発PTでも席の間隔を広くあけたり、こまめな換気や消毒に気を付けながら編集会議を重ねました。コロナウイルスの影響でまだまだ色々制限等もありますが、感染拡大防止に努めながら今後とも各事業所での取り組み等を分かりやすくお伝えできるよう頑張ります。(山川)
- 新型コロナウイルスの影響もあり、今まで当たり前になっていたことが当たり前でなくなると思いませんでした。3密防止や互いの距離間を保つなどたくさんの制限がある中、ちょっとした小さな楽しみも皆で共有することでたくさんの笑顔につながれば良いですね!(阪口)
- 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による影響が随所に見られますが、現在の状況を逆手にとって、より良いものを作り上げることができたらと日々思案しています。広報・啓発PTにおける取り組みもその一つだと考えております。当広報誌はもちろんのこと、法人ホームページについても皆で盛り上げていきましょう。(片山)
- 窮屈に感じる昨今ですが、制限があるならその中で精いっぱいやる、対策を取りながら工夫次第で楽しめることを、という様子が今回分でお見せできたのではないのでしょうか。つい最近まで暑かったのが嘘かのように寒くなりました。感染症対策をより厳しくしていかないといけない時期ですが、できることをして、皆で楽しんでる顔をお届けできたらと思います。(大西)